

『プロデューサー様のお知り合い……
そうでしたか、急な呼び出しでしたので少々、驚きました』

『凛世さんにはぜひ一度我々の番組に
出演していただきたいと思ひましてね』

『今日は凛世さんとお話できてよかったです
プロデューサーさんのほうにも、
是非にとお伝えさせていただきますね』

『うう……すみません……
本当に、熱くて……』

『どうしました凛世さん？
今日はもう
お帰りいただけますよ？』

『申し訳ございません、なぜか
体がすごく熱く……』

あぁ…
む

『これはいけませんね
そういうことでしたら
一度交尾されていきますか？』



『ほ、ほ……』

某日、夏季休暇で人がいないのをいい事に
やりたい放題の催眠が使える空き巣
今回はお手製の媚薬をお茶に混ぜ交尾へ

『ふおおっ！ ふおおっ！
ぶにたんがケツ穴ほじりおるわっ
たまらんっ！腰浮くっ……！』

ひぢゃ
ひぢゃ
ひぢゃ
ひぢゃ

しりり
しりり

んおおおっ！
○学生みたいなおててっ股関に響くわっ
こりやいかんつもれるもれる！』

『おじさんの
汚いところんな
丁寧につ……！』

ひぢゃ
ひぢゃ

ひゅる
ひゅる

『あああだめだっつ！
とりあえず一発射精すぞっ』

ひゅる
ひゅる
ひゅる
ひゅる

『ほらお口あーんして
っふううううう……！』

ひゅる
ひゅる

ひゅる
ひゅる

『いっばいごっくんできたねえ
何も言わなくても自分からおまた広げて
我慢できないんだね』

『は、はい……よろしければ
そ、その……だ、男性のものを……中へ……』

『んー？これなんていうかちやんと
聞かせてくれるかなあ？』

『そ、そんな……は、恥ずかしい、です……』

『言えるまではお預けだなあ』

『あつそ、そんなっ
手だけだなんて……切なくなつて……』

『お、おちんちん……』

『んー？』

『おちんちん
欲しいです……』

『よく言えましたっ
もう期待してるのが顔にでちゃって
ほんとに可愛いねえ』

『お願いします……
凛世の中、かき回して
ください……』

『おおおっ入つた！
ちっちえええ
あつたけえ……！！
腰が勝手に動くわ！』

オッ！
ホッ！

アッ！
アッ！
アッ！



『どうだい凛世ちゃんっ！
はじめての中年おやじのちんこの味はっ！
赤ちゃんの部屋ノックしてるのが
わかるかいっ！』

『これから毎日このロリぱい
しゃぶれるんだ、たまらんなあ』

『くはあああっ！興奮してもう射精るわっ！
その未発達のロリボディでおじさんの
赤ちゃん汁全部受け止めるよっ！』

『はい…♡凛世ので
よろしければ、いつでも…♡』

『わかりますっ…♡
奥っすごいっあっ…♡もっど
突いてっくださいっ…♡』

『おおおまだでるっ
どうせ誰もこねえんだ
このまま一晩中やり倒すからな』

『ふうふう……射精中のちんぽに
むしやぶりつく大和撫子最高だぜ
射精終わってんのに吸い付いて離さねえ』

『凜世ちゃん気に入ったよ、
こないだの○学生といい
ここはしほり甲斐があるやつが多いな
一晩で終わらせるのはもったいな……』

